



平成 23 年 11 月 1 日  
 株式会社海遊館 広報チーム  
 〒552-0022 大阪市港区海岸通 1  
 TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551  
<http://www.kaiyukan.com/>  
 (担当：村上、齋部、西村、田井、鈴木)

## 11月1日は計量記念日！

# ジンベエザメの全長を計測しました！

大阪市港区の海遊館では、“計量記念日”にあたる11月1日（火）の午前10時00分よりジンベエザメ「遊ちゃん」の全長計測を行いました。

その結果、

**全長は 4 m28cm、推定体重は 950kg でした。**

全長計測の作業は、午前10時00分から海遊館8階の「太平洋」水槽バックヤードにて、計測用カメラでジンベエザメの泳ぐ姿を撮影し、それをカメラと直結したコンピュータで画像処理して算出しました。また事前計測の結果、ナンヨウマンタの体盤幅 3m25cm、イトマキエイの体盤幅は 2m40 cmでした。

### ・「遊ちゃん」の成長の推移

|           |                        |            |
|-----------|------------------------|------------|
| 計測日       | H23. 7. 22<br>(海遊館搬入時) | H23. 11. 1 |
| 全長 (m)    | 4. 10<br>(メジャーでの計測値)   | 4. 28      |
| 推定体重 (kg) | 900                    | 950        |
| 推定年齢 (歳)  | 5~6                    | 5~6        |

### ・「ナンヨウマンタ」の成長の推移

|                 |                         |      |            |            |            |
|-----------------|-------------------------|------|------------|------------|------------|
| 計測日             | H11. 12. 14<br>(海遊館搬入時) | ~中略~ | H21. 11. 1 | H22. 11. 1 | H23. 11. 1 |
| 体盤幅 (m)<br>(横幅) | 1. 80<br>(メジャーでの計測値)    | ~中略~ | 3. 13      | 3. 20      | 3. 25      |

### ・「イトマキエイ」の成長の推移

|                 |                       |            |            |            |
|-----------------|-----------------------|------------|------------|------------|
| 計測日             | H20. 6. 1<br>(海遊館搬入時) | H21. 11. 1 | H22. 11. 1 | H23. 11. 1 |
| 体盤幅 (m)<br>(横幅) | 2. 20<br>(メジャーでの計測値)  | 2. 39      | 2. 39      | 2. 40      |

※イトマキエイは平成20年11月1日の計測では、計測をおこなっていません。

**1. 【ジンベエザメ】 英名 : Whale shark 学名 : *Rhincodon typus***

温帯から熱帯の沿岸および外洋に生息する大型のサメで、日本近海では黒潮に乗って春から秋にかけて現れます。体は灰色で白色の斑点が散在し、小型甲殻類などのプランクトンを食べます。最大 10~12m、稀にさらに大きく成長する可能性があると考えられています。

**2. 【ナンヨウマンタ】 英名 : Alfred manta ray 学名 : *Manta alfredi***

トビエイ科。オニイトマキエイに次ぐ大きさで、成長すると体盤幅は 4m を超える巨大なエイ。頭部には左右一対の頭ビレがあり、普段は巻いた状態で前方に突き出して角のように見えます。体は菱形で、背側は黒く肩帯部に大きな白い斑紋があります。腹側は白く黒い斑点模様があります。背面の白い斑紋の前縁がV字状をしていて、その形状などでオニイトマキエイと区別することができます。全世界の暖かい海域の主にサンゴ礁域や沿岸域に生息しています。ジンベエザメ同様、プランクトンを餌にしています。海遊館では平成 11 年 12 月 14 日に搬入したオスの個体を飼育しています。

**3. 【イトマキエイ】 英名 : Spinetail mobula 学名 : *Mobula japanica***

トビエイ科。南日本から東シナ海、南シナ海、ハワイにかけて分布する大型のエイで、頭部の両端にある頭ビレが特徴です。「オニイトマキエイ」に似ていますが、「オニイトマキエイ」では口が頭部前縁に位置するのに対し、「イトマキエイ」では頭部腹面に位置すること、また背ビレの後ろにトゲがあることで見分けることができます。日本国内で見られることは稀で、成長すると体盤幅が 2m50cm 以上になります。「イトマキエイ」の餌付けと長期的な飼育には、世界中の水族館で海遊館が初めて成功し、平成 20 年 6 月 1 日より「太平洋」水槽にてメス 1 尾を展示しています。